

## データ放送を利用した 住民情報サービス「RKK デタポン」がスタート

2013年4月1日 リリース

株式会社熊本放送（本社：熊本市中央区、代表取締役社長・浅山弘康、略称 RKK）は、地上デジタル放送のデータ放送を利用して地域独自の情報を発信できる住民情報サービス（愛称 RKK デタポン）を4月1日からスタートしました。

これは RKK が熊本県内の自治体（区市町村）向けに提供するサービスで、視聴者は RKK テレビを視聴中に d ボタンを押してデータ放送を表示させ、「RKK デタポン」のメニューから24時間いつでも（\*注1）情報を閲覧することができます。

記事は各自治体のパソコン端末から入力され、承認（チェック）を行ったうえで管理サーバへ送信、データ放送で視聴できる形に自動変換します。記事は文字情報のみです。視聴者がテレビに設定した郵便番号をもとに、お住まいの区市町村からの情報が優先的に表示されます。また任意の自治体も選ぶことができ、近隣の情報を確認することも可能です。

熊本県は昨年夏に九州北部豪雨を経験し、特に阿蘇地方は甚大な被害を受けました。「RKK デタポン」はテレビのデータ放送に加え、ワンセグのデータ放送（\*注2）、RKK ウェブサイトでも同じ情報を掲載、有事の際に一人でも多くの住民へ情報が届くよう考慮しています。自治体の参加は有料となりますが、現在参加している高森町では防災情報以外に普段から行政情報・町のイベント等も発信しており、今後テレビを通じて老若男女問わず幅広い層への広報・情報伝達が確立されるところと考えています。

県内数箇所の自治体が参加を検討しており、RKK では引き続き参加自治体を募集しています。詳細はウェブサイト（<http://rkk.jp/>）で公開中です。

※注1 難視聴地域ではサービスを受けることができない場合があります。番組によって、また保守などの関係で予告無く休止する場合がございます。

※注2 ワンセグによる「デタポン」の視聴には各携帯会社のパケットサービスを利用します。

■本サービスに関するお問い合わせ

株式会社 熊本放送

メディア企画局メディア広報部 TEL 096-328-5635

テレビ局テレビ営業部 TEL 096-328-5623